

◎特集1

まちづくり考

岡谷の未来を輝かそう。

第4次総合計画の策定に向けて

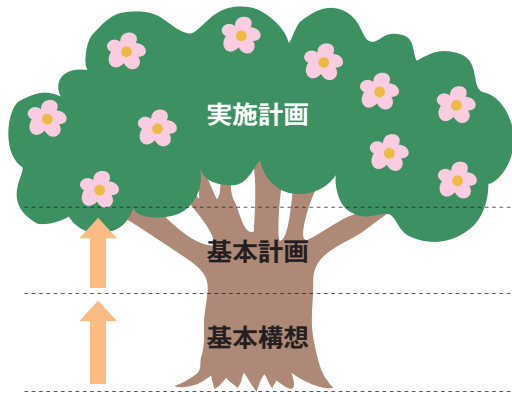
来年度から10年間にわたる岡谷市の行政運営の総合的な指針、それが「第4次岡谷市総合計画」です。

総合計画は、地方自治法に基づいて定めるもので

「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3つで構成され、

市が取り組むさまざまな施策の最上位に位置づけられる基本的なプランとなります。

総合計画のしくみとアウトライン



1. 基本構想

岡谷市のめざす将来像を長期的に定め、その実現に向けて、基本的な施策の大綱を明らかにする、いわば樹木の根幹です。

計画期間は、平成21年度を初年度とし、平成30年度を目標年次とする10年間です。

2. 基本計画

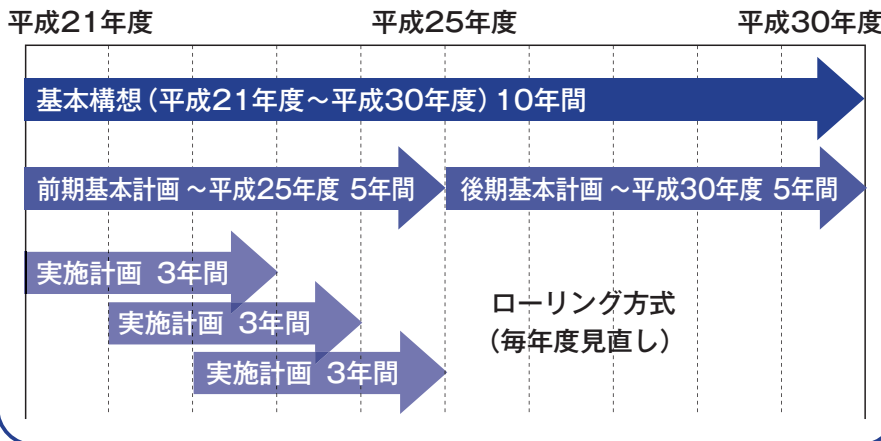
基本構想に基づき、それを実現するために必要な施策を体系的に示す幹や枝になります。

計画期間は中期の5年間とし、平成21年度～25年度までの前期と、平成26年度～30年度の後期に分けて計画します。

3. 実施計画

基本計画で示した中期的な施策を、効率的に実施するための具体的な事業計画で、葉を広げ、花開き、果実をつけます。

計画期間は短期の3年間とし、ローリング方式で毎年度見直しを行い、内容や実施時期を明らかにしていきます。



厳しい時代だからこそ

みんなで夢を描こう

少子高齢化、高度情報化、国際化の進展などによる行政需要の多様化、複雑化、国の三位一体の改革などでひっ迫する地方財政…。地方自治体を取りまく環境が、厳しさを増すなかで策定される「第4次岡谷市総合計画」は、目に見える都市基盤整備を進めてきた第2次、第3次の総合計画とは異なり、現実、そして将来を見すえたうえで、真に豊かな暮らし

しの実現をめざすものでなければなりません。そこで求められるのは、市民総参加によるまちづくりのより一層の推進です。『どうなるの？』を『どうするの？』に切り換えれば、今まで気づかずにいたことに気づくかもしれません。どんなまちをめざすのか、何が必要なのか、優先順位はどうなのか、などをともに考えながら夢を描くことで、岡谷にふさわしい、岡谷ならではの「活力と特色のあるまち」の方向性が見い出せるのではないのでしょうか。

岡谷南高校での意見交換会



また10回にわたって開催された「市民フォーラム」には、多いときには40名以上の幅広い年代の市民が集まり、岡谷市がめざす将来のまちの姿について、活発な質問や意見を交わしました。さらにそこから波及して、将来を担う子どもたちの率直な意見を得たいと岡谷市リーダーズ倶楽部との「子ども会議」や岡谷南高生との「意見交換会」も開催しました。

人口とにぎわい、産業振興、教育と子育て、自然と環境、健康と福祉、都市整備などさまざまな意見や要望、多種多様なニーズや提案をまとめていくと、分野を横断する重点的な取り組みが明らかとなり、またそれを議題として話し合うなかで、岡谷市が目標とするまちの姿も、徐々にイメージができてきました。

市民起点のまちづくりを

“協働”で立案

市民の意見を十分に反映した計画の策定をめざして、市では、市内5カ所で開催した市政懇談会、市民アンケート調査（1000人対象）のほかに、いくつかの新しい取り組みを行ってきました。各種団体などを対象に面談方式のアンケート、商店街やアミューズメント施設などでのまちなかアンケートも実施しました。



岡谷市リーダーズ倶楽部子ども会議



総合計画策定市民フォーラム



第4次岡谷市総合計画（案）の骨格

将来都市像

みんなが元気に輝くたくましいまち 岡谷

- 将来人口…まちの活力を維持し、にぎわいを創出するために平成30年度の想定人口として、計画スタート時に見込まれる53,000人を設定します。

岡谷市が目標とするまち

- 〈魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち〉
 - 基幹産業の振興 ● 勤労者対策の推進 など
- 〈ともに支えあい、健やかに暮らせるまち〉
 - 保健医療の充実 ● 子育て支援 など
- 〈自然環境と暮らしが調和した、安全・安心のまち〉
 - 環境保全の推進 ● 循環型社会の構築 など
- 〈生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち〉
 - 文化・スポーツの振興 ● 国際理解の醸成 など
- 〈快適に生活できる、都市機能の充実したまち〉
 - 交通網の整備 ● 都市空間の充実 など

時代の潮流とまちづくりの課題

- 地方分権の進展と市民総参加のまちづくり
- 少子化・高齢化・人口減少への対応
- 産業振興による活力の創出
- 安全・安心で健康な暮らしの確保
- 地球規模の環境問題
- グローバル社会の進展
- 情報通信技術の進展

総合計画を推進するために

- 市民総参加のまちづくり
- 開かれた市政運営の推進
- 将来を見すえた行政経営の推進
- 広域市町村との連携

こうして市民のみなさんの意見を聞きながら策定している「第4次総合計画」は、「基本構想案」と「前期基本計画案」の概要が固まり、8月末から岡谷市基本構想審議会による審議が始まっています。

諮問案の審議は、市民のみなさんの意見も参考にしながら進めます。審議期間中、市では、諮問案の概要や考え方を説明しながら、広く「パブリックコメント」を求め、行政運営における公正性の確保と透明性の向上を図り、誰にとってもわかりやすい中長期的な計画案

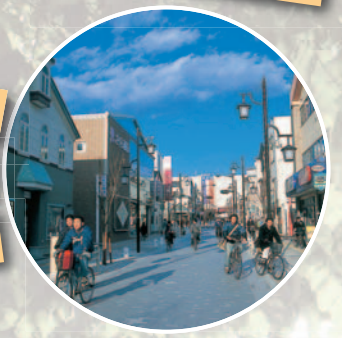
あなたの意見を聞かせてください

“あいさつ”がしっかりし合えるといいな！
まちづくりは人づくり。子育てが大事です。
ごみの分別など環境教育は小さいときから。



子育て中の人働きやすい環境づくりを！
基幹産業の工業が元気でないとね、岡谷は。
環境や高齢化に即した新しい産業を育てていくべきでは？

岡谷ブランドで店や商品の付加価値をアップしては？



調訪広域、全国との連携で新しい商業モデルを模索。
ウラ岡谷の有効活用。貸出など、アイデアを募っては？



歴史や自然、住みやすさをもっと内外にアピールして。
豊かな自然環境を守るには、市民一人ひとりの意識が大切。
災害のこわさを伝えていき、防災意識の高いまちにしたい。

としたうえで、市議会での議決をめざします。

総合計画は、市民と行政との協働のまちづくりの第一歩。もちろん策定することが目的ではなく、計画をどう推進するかが重要です。

諮問案は、ホームページのほか庁舎情報公開コーナー、各支所でもご覧いただけます。

計画について、そして計画の推進に対するあなたのひと言を、ぜひお寄せください。電子メール、郵便、FAX、庁舎または支所などに設置された意見箱でも受付ています。

FAX番号 24-0689
メールアドレス kk@city.okayama.nagano.jp

問合せ ● 企画課(内線1522)

